

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 318

事務事業名	高齢者肉用牛飼育奨励事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	開 健一	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	4	畜産業費
事業コード	020000	高齢者肉用牛飼育奨励事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			60歳以上の肥育・繁殖牛農家		
意図	対象をどのような状態にしたいか			畜産農家での牛の飼育者が高齢化している。 ①高齢者の方々に肉用牛飼育を奨励し、有機質堆肥を耕地に還元する循環型農業の促進を図り、農業生産力を増大させるとともに畜産振興を図る。 ②高齢者の方々の社会福祉(健康増進及び生き甲斐づくり)に資する。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			大村市高齢者肉用牛飼育対策協議会員が購入する素牛の借入金利子を補給する。また、協議会は牛の共同購入を行い、農家同士の交流を図るとともに飼育管理についても指導する。 平成28年4月現在 農家数12戸		
事業期間	昭和 51 年度	～	平成 年度	実施方法	補助	
根拠法令、要綱等						
国・県補助事業に係る本市単独施策						

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 購入資金の利子補給	計画値	30	30	21	21	
		実績値	20	17	17		
		達成度	66.7%	56.7%	81.0%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 高齢者事業により導入した牛(肥育牛)の販売価格(1頭当たり)	計画値	720	775	1,100	1,325	
		実績値	1,074	1,100	1,223		
		達成度	149.2%	141.9%	111.2%		
	② 高齢者事業により導入した牛(繁殖牛)の子牛の販売価格(1頭当たり)	計画値	366	403	550	630	
		実績値	410	574	630		
		達成度	112.0%	142.4%	114.5%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	80	67	79	126	102	102	102	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	80	67	79	126	102	102	102	
② 人件費(千円)	1,359	1,519	1,074	1,111	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.17	0.20	0.15	0.15	利子補給	利子補給	利子補給	
時間外勤務(時間)	4	4	8	10				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,439	1,586	1,153	1,237				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度、本事業による導入頭数は9頭であり、延べ導入頭数は1,392頭となった。 本事業は、素牛導入に係る借入金利子の一部助成を行っているが、素牛導入に係る経費の一部を助成する事業として見直した結果、現状維持となった。
事業が抱える問題・課題等	高齢化が進み、後継者がいないため、飼育継続困難となり、農家数の減少とともに飼育頭数も減少している。このため、会員及び頭数の維持・確保に向けた取り組みが必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農業を営む高齢者に肉用牛の飼育を奨励することで、高齢者の健康や生き甲斐の増進対策に繋がるとともに、畜産の維持・存続を図るために必要な事業である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	畜産の存続を図るには、農家高齢者に蓄積された飼育技術を活かし、畜産業の維持による生き甲斐対策としての施策が必要であり、今後も継続した市の関与が必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	肥育牛については、管内平均販売価格よりも高値で取引されており、飼育技術の高さがうかがえる。 繁殖牛については、市場における平均販売価格が上昇しており、本事業による効果があるものと思われる。						
効率性	【コスト】		削減の余地なし	削減の余地あり		該当なし	
	本市、畜産農家の飼育技術が長崎県でも高いレベルにあることは、高齢者の技術に寄るところが大きく、その継承も含めて、今後の畜産振興及び生き甲斐対策として貢献している事業である。						
効率性	【負担割合】		見直しの余地なし	見直しの余地あり		該当なし	
	飼料価格の高止まりや自衛防疫問題等により農家の生産意欲が低迷しているため、今後も継続した利子補給が望まれており、見直しの余地はない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後の財源確保に向けた取り組みとして、国や県の利子補給がないか確認を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。